



# 創作料理 全国、九州大会へ

## 佐伯豊南高家庭部の4人

### 「郷土の魅力発信」

【佐伯】佐伯市の佐伯豊南高家庭部の生徒が創作料理の全国、九州大会に出場する。3年の正田凜桜さん(17)と宮崎心夢さん(18)、2年の日野鈴菜さん(17)と野下花音さん(16)。自慢のオリジナルメニューで「佐伯の魅力発信したい」と張り切っている。

正田さんと宮崎さんは全国予選を兼ねた第12回(ご当地絶品)うまいもん甲子園の九州選抜大会(分日・福岡市)、日野さんと野下さんは第9回高校生対抗レシビコンテスト鉄板焼甲子園(9月24日・静岡市)に臨む。

正田・宮崎ペアは地元の養殖アリの唐揚げと韓国屋台メニューを組み合わせた「ヤンニョムぶりーホットク」で、同校として4年ぶりの全国を目指す。

コチュジャンベースのヤンニョムであえた一口サイズのアリ唐揚げなどを強力粉、白玉粉で作ったホットクで包んで焼いた料理。昨年9月の台風14号で大きな被害に遭った養殖アリを「なんとかしたい」という思いなどから考案した。2人は「粉の分量など試

行錯誤しながら、破れず、もちもちの食感を楽しめるようにした。大会では料理の盛り方なども工夫する」と抱負。

日野・野下ペアはマレーシアの焼きそばをアレンジした「佐伯ホッケンミー」で全国に挑む。麵にゆでうどんを使い、乾シイタケの戻し汁、しょうゆなど地元産のイカ、ニラなどを煮詰めたもの。シイタケの風味を生かしながら味の変化も楽しんでもらおうと、ゆずししょうり入りのソースも添える。

書類選考を通過した22校によるオンライン審査で、静岡県外枠5校に入った。2人は「大分の食材をより感じられるよう心がけた。魅力を伝えられれば」と話している。

(安部亮)

〔問①〕記事を読んで、下の①～③の文章の○の中に文字を入れましょう。

①佐伯豊南高校家庭部の生徒は「佐伯の○○を発信したい」と張り切っている。

○ ○ (2文字)

②正田・宮崎ペアは昨年9月の台風14号で大きな被害に遭った○○○○を「なんとかしたい」という思いなどから考案した。

○ ○ ○ ○ (4文字)

③日野・野下ペアの「佐伯ホッケンミー」には○○○○○○入りのソースも添える。

○ ○ ○ ○ ○ ○ (6文字)

〔問②〕あなたが自慢したい地元の食材にはどんなものがありますか？思いつくものを全て書きましょう。

.....  
.....